日本ケンタイ
超優良経営 無借金 26社
5ページ
4月号 発売中 12/2 日曜日 定価 630円

デフレ 円高 株安 でも大丈夫

生き残る「無借金会社」26銘柄

日経平均
現在値
9081.52
-301.72

十分な現金があれば、株安もこわくない

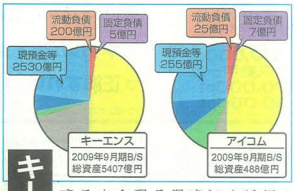
日本は厳しい年の瀬をてくる。ただできえ、年迎えている。政府が3年半ぶりのデフレ宣言をすると、ほどなく円が1ドル＝84台円まで急騰、さらに予想外のドバイ・ショックが日本を襲い株価が急落した。「デフレ」「円高」「株安」――とんな3重苦が長引けば、本当に「2番底」がやって

日本は厳しい年の瀬はとても資金繰りに悩む。政府が3年半ぶりのデフレ宣言をすると、ほどなく円が1ドル＝84台円まで急騰、さらに予想外のドバイ・ショックが日本を襲い株価が急落した。「デフレ」「円高」「株安」――とんな3重苦が長引けば、本当に「2番底」がやって

大不況でも生き残る「無借金会社」

企業名	倍率
キーエンス	12.28
アイコム	7.75
ベリサーブ	7.64
学情	7.12
エックスネット	7.04
マブチモーター	6.80
ヒロセ電機	6.60
ファナック	6.00
日本セラミック	5.60
オーピックビジネスコンサル	4.47
カナレ電気	4.02
日本高純度化学	3.98
ナガイレーベン	3.74
日本金銭機械	3.73
日東工器	3.69
小野薬品工業	3.68
コーセル	3.44
東京個別指導学院	3.20
あみやき亭	3.11
ローム	2.99
日本システムディベロップメント	2.69
義松エレクトロニクス	2.57
大平洋金属	2.48
朋光ネットワークジャパン	2.35
ザッパラス	2.32
任天堂	2.15

＊直近の決算をもとに試算



キーエンスは現預金が負債の12倍もある

迎えている。政府が3年半ぶりのデフレ宣言をすると、ほどなく円が1ドル＝84台円まで急騰、さらに予想外のドバイ・ショックが日本を襲い株価が急落した。「デフレ」「円高」「株安」――とんな3重苦が長引けば、本当に「2番底」がやって

弁走する時だ、ところが、逆風の下でもナンと構えている企業があるのも事実。ズバリ、「無借金経営」企業である――。

✣　✣

東証一部上場企業は現在、約1700社だが、企業価値検索サービス「ユーレット（Ulie）」の調査によれば、このうち無借金会社は1％にのぼる。

「無借金会社」とは、現預金等が、流動・固定両負債の合計を上回る企業で、それらの上位をランキングしたものいることで、会社のバランスシートが別表だ。また、無借金が況の年末と1位のキーエンス（制御ひと目でわかるように、保有する現金の多寡が企業の生死を大きく左右するといえます。

（無線機）を円グラフにした。両社はともに現預金等（ライトブルー）が負債総額（赤と黒）を大幅に上回っている。借金だらけの会社は負債総額が現預金等より多い。

在庫や売掛金などを加えた総額が、負債総額の2倍以上あれば経営が安定しているとされています。今回の調査は現預金等だけで、負債総額の2倍以上ある企業を抽出しているので、経営状況がより健全であるといえます（前出の西野嘉之氏）

無借金経営というと、「利子負債ゼロ」というケースがあるが、借金がないというだけでは必ずしも健全な企業とはいえない。

「本当は経営が苦しいのに、親会社や創業者が資金を提供して助けているため、形の上で無借金になっているだけ」

ありません。現在、輸出主体の電気・電子関連企業などは円高の影響をモロに受けて無借金であっても赤字のところが多い」（証券幹部）

十分な現金をもつ筋肉質の会社が不況に強いのである。株を買うならこうした企業に着目すべきだろう。

同サービスを運営するシステムコンサルティングの「メディネットグローバル」代表取締役・工学博士の西野嘉之氏がこう指摘する。

「無借金会社とは、現預金等が、流動・固定両負債の合計を上回る企業で、それらの上位をランキングしたものいることで、会社のバランスシートが別表だ。また、無借金況の年末と1位のキーエンス（制御ひと目でわかるように、保有する現金の多寡が企業の生死を大きく左右するといえます。

（無線機）を円グラフにした。両社はともに現預金等（ライトブルー）が負債総額（赤と黒）を大幅に上回っている。借金だらけの会社は負債総額が現預金等より多い。

在庫や売掛金などを加えた総額が、負債総額の2倍以上あれば経営が安定しているとされています。今回の調査は現預金等だけで、負債総額の2倍以上ある企業を抽出しているので、経営状況がより健全であるといえます（前出の西野嘉之氏）

無借金経営というと、「利子負債ゼロ」というケースがあるが、借金がないというだけでは必ずしも健全な企業とはいえない。

「本当は経営が苦しいのに、親会社や創業者が資金を提供して助けているため、形の上で無借金になっているだけ」

ありません。現在、輸出主体の電気・電子関連企業などは円高の影響をモロに受けて無借金であっても赤字のところが多い」（証券幹部）

十分な現金をもつ筋肉質の会社が不況に強いのである。株を買うならこうした企業に着目すべきだろう。